

標準施工仕様書

用途：建物の内外装 適用下地：窯業系サイディング・コンクリート・モルタル・スレート各種建材

○下地調整

1	・既存塗膜の浮き、膨れ、脆弱部は除去し既存模様段差など周辺模様に合わせ復元させてください。 ・汚れ、付着物、チョーキングなどは高圧洗浄機（10～15MPa）で除去し、十分に乾燥させてください。 ・劣化した目地材などは除去し、シーリング材を充填させてください。 ・コンクリート・モルタルは含水率10%以下、ph10以下で施工してください。
---	--

○下塗り

工程		材料名	調合 (%)	標準塗布量 (kg/㎡)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法
2	下塗り	セラグラスシーラー	無希釈	0.1～0.19	1	3 h 以上	刷毛・ウールローラー スプレー
2	下塗り	セラグラスシーラーEPO	無希釈	0.1～0.2	1	3 h 以上	刷毛・ウールローラー スプレー
2	下塗り	セラグラスフィラーEPO	水道水 5～7	0.3～0.6	1	5 h 以上	ウールローラー
			水道水 2～4	0.8～1.5	1		多孔質ローラー
			水道水 4～6	0.7～1.2	1		リシガン口径4～6mm 吹圧0.5～0.6MPa

○上塗り

工程		材料名	調合 (%)	標準塗布量 (kg/㎡/ 1 回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法
3	上塗り	セラグラスエックス（艶有・5分・3分）	水道水 0～3	0.12～0.18	2	3h以上	刷毛・ウールローラー
3	上塗り	セラグラスエックス（艶消し）	水道水 0～3	0.12～0.18	2	3h以上	刷毛・ウールローラー

記載の塗装間隔・所要量は標準的なものであり、施工方法、被塗物の形状、素地の状態などにより多少異なる場合があります。

施工上の注意事項・要点

●塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または、換気が不十分で結露が考えられる場合は、塗装を避けてください。●飛散防止のため養生を施行してください。●艶調製品では、刷毛、ローラーでの塗装は塗継や補修でムラが出やすくなりますので、塗継が出ないような塗装方法で対処してください。●艶調製品は塗装面の形状、素地状態、塗膜厚、乾燥時間、希釈率の差違や過剰な希釈などで実際の艶と異なる場合がありますので、必ず試し塗をして確認してから施工してください。●使用前は製品内で成分が均一ではない場合がありますので、攪拌機を用いて十分に攪拌してからご使用ください。●防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するものです。既に繁殖が確認できる場合は、完全に除去、殺菌処理をしてから施工してください。また、コケ類やカビ類が多く生息している場合はメーカーにご相談ください。●塗装面の形状、部位、仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発揮出来ない場合があります。●塗装後、乾燥が不十分な状態で降雨がある場合や結露がある場合、塗膜異常が発生する恐れがあります（白化、膨れ、塗膜流れ、割れ、しみ）。また、暴風など天候が劣悪の場合は塗装を避けてください。●スプレー塗装をする場合、ノズルの先端は適度に掃除しながら行ってください。塗布量不良や塗ムラの原因となります。また、飛散防止には十分に配慮してください。●反応硬化型の塗料の為、水性用塗装具を使用して施工してください。刷毛などはナイロン製の刷毛をご使用ください。また、塗装後の塗装具はなるべく早く、洗浄してください。●著しく吸い込みがある下地では、標準塗布量を超えて塗装する必要があります。●タイル面で薬品洗浄などした場合、薬品が塗装面に残基していると密着不良、変色、早期劣化が生じる場合があります。十分、注意して施工してください。●ALC版、多孔質下地、コンクリートブロック面の素地において、巣穴や段差がある場合は樹脂入セメント系下地調整剤を推奨しています。●塗装後、直ぐに手を触れるような箇所では、触れると塗装表面の軟化が起こる場合があります。接触防止など対策をしてください。●内装などでの塗装は十分な換気を行ってください。●シーリング部への塗装は塗膜汚染、膨れ、割れなどの不具合が生じる事がありますので後打ちを推奨しています。●塗膜に長時間、水が滞留する場所では、塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、十分に注意してください。また、防水専用ではありませんので水が溜まる箇所は防水専用の材料を使用してください。●上塗りに鮮えた色相を使用する場合、共色を下塗りしてから塗装してください。また、塗装面が尖ったような箇所では共色の下塗りをしてもらい出来ないので事前に試し塗をしてください。●塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが接触する可能性がある場合は十分にご注意ください。●補修塗装では、補修部分が目立つことがあります。補修の際はロット番号、希釈率、補修方法などを同一にしてください。●刷毛塗仕上とローラー仕上が混在する場合、仕上が肌が異なるため、若干の色相差が出る場合があります。●ローラー塗する場合、ローラー目を同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目の肌の違いで色相差が出る場合があります。●可塑剤が多く含まれている塩ビクロス、塩ビ被覆銅板、塩ビラミネート、ゴムパッキン、合成皮革は塗装を避けてください。●素材や素地の状態によって、吸い込みや、巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ、研磨工程が必要になる場合があります。各種建材などは製造メーカーが推奨する補修材、工法で補修してください。●開封後はなるべく、一度に使い切ってください。保管する場合は密栓して冷暗所に保管し、出来るだけ早く使い切ってください。●大気中に浮遊鉄成分（鉄粉）など多い地域では、塗膜に鉄成分が付着し、塗装面が赤色に変化したように見える場合があります。●横倒しにすると塗料が漏れたり容器の変形の恐れがありますので、運搬や保管に注意してください。●塗料、塗料容器、塗装具は都道府県、または、市町村の規則に従って産業廃棄物として適切に破棄してください。●塗装容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境汚染を及ぼす場合がありますので適切な設備にて行ってください。●乾燥した塗装面の洗浄はシンナーではなく、水または中性洗剤で行ってください。

安全衛生上の注意事項

●本来の用途以外には使用しないでください。●使用する前に取り扱いについて十分に理解してから使用してください。●取り扱い後は十分な手洗いやうがいをしてください。●必要に応じて保護具をしてください。●飲み込んだ場合、直ぐに口をすすぎ、医師の診察を受けてください。●目に入った場合は、直ぐに水道水で洗浄し、医師の診断を受けてください。●施工中、気分が悪くなった場合は無理せず、安静にしてください。治らない場合は速やかに医師の診断を受けてください。●子供の扱えない場所に保管してください。●直射日光は厳禁です。●塗料缶の積み重ねは3段までとし、地震などで倒れないよう固定してください。●運送中に50℃を超えるような環境で運搬しないでください。

本カタログ掲載商品の詳細、危険有害性情報や使用上の注意事項については、必ず安全データシート（SDS）をご参照ください

株式会社グリーンドゥ 東京都港区芝 5-29-17 TEL 03-5419-1351 東京・札幌・沖縄



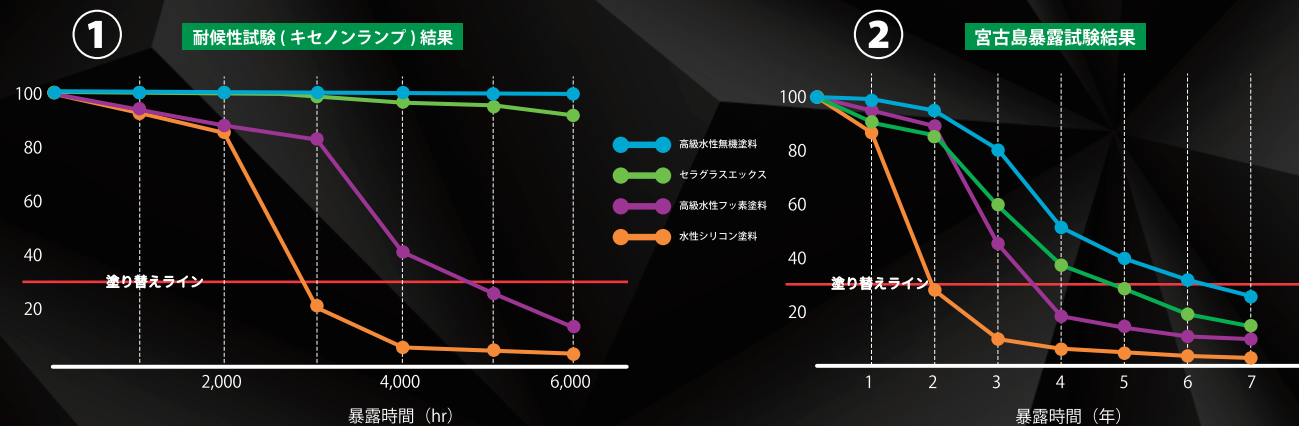
We are very delighted to meet you.
Make your home shine for a long time,
contributing to the fight against global warming.



Green Do

業界初！トリプル試験（エビデンス）の採用で安心な塗装工事を実現

①キセノンランプ（機械）の試験で優秀な結果なので、②過酷な環境で劣化スピードが早い宮古島での屋外暴露試験と③実際の現場で10年間販売しないで経過を観察するといった塗料業界では今までには無かった販売システムにしています。（一般的に建築塗料はキセノンランプ等の機械のみで性能を判断して販売）倫理観のある製品なので安心な塗装工事にも繋がります。



トリプル試験（エビデンス）の必要性

キセノンランプ（機械）の試験は紫外線に対しての反応をみます。（大気劣化、熱劣化、水分劣化、摩耗劣化を含まない）しかしながら、外的要因は紫外線だけではありませんので塩害地域の宮古島や内陸などで実際の現場の状況を見極めなければならないと思います。塗装工事の新常識はお客様の安心に繋がるエビデンスの提供と考えています。



セラグラスエックスはどんな施工店に使われているの？

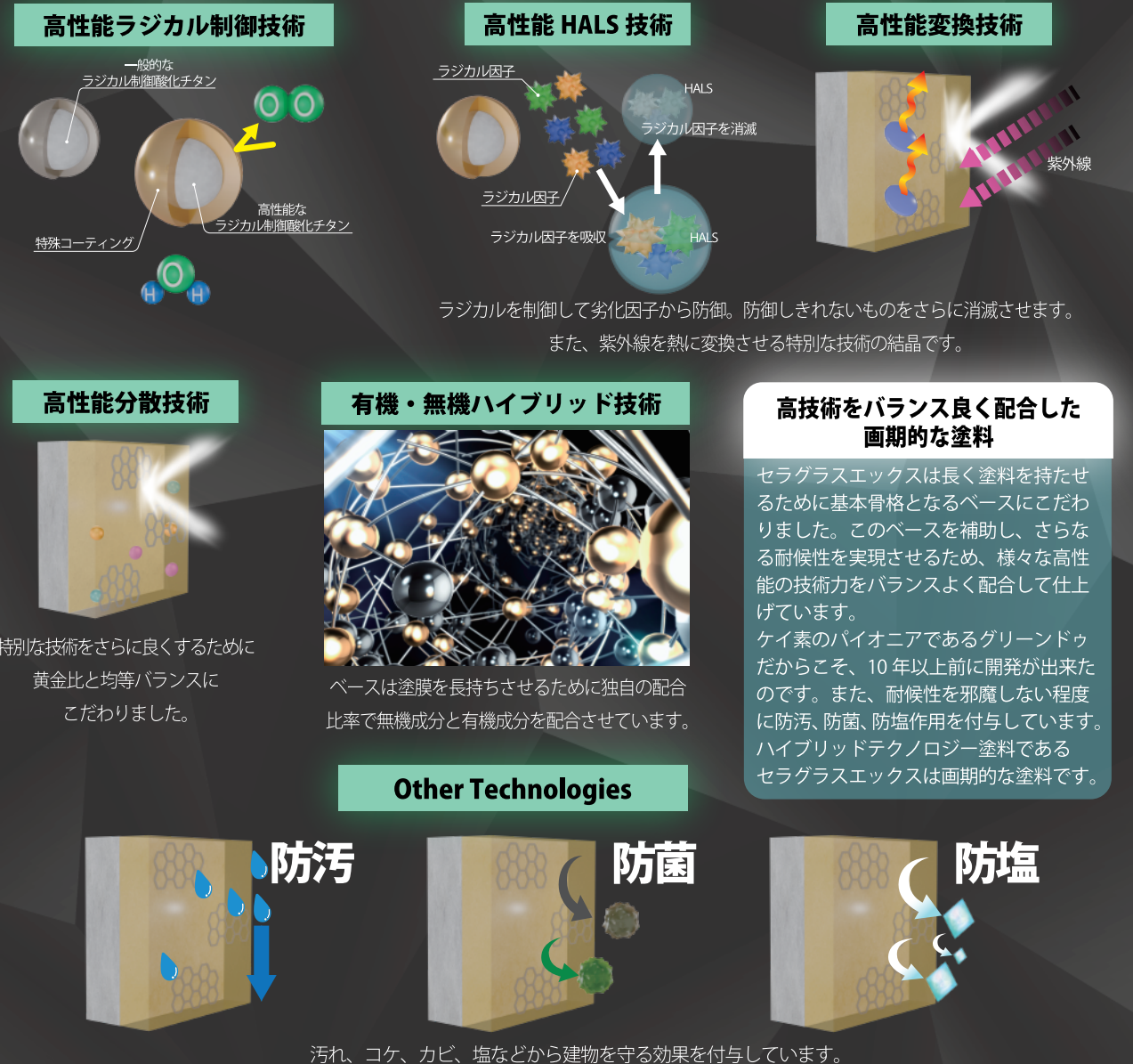
消費者の方に損をして欲しくない。
環境配慮を考えた塗装工事を提案したい。
高性能な塗料をリーズナブルな価格で提案したい。
開発力のあるメーカーと取引していきたい。

といった消費者目線の施工店に多くご採用
いただいております。



Q セラグラスエックスはどんな塗料？

様々なハイスペックな技術を黄金比でまとめた
ハイブリッドテクノロジー塗料です。



セラグラス下塗りシリーズ推奨適合表

◎極めて良好 ○良好 ×不可

下地種類	セラグラスシーラー-EPO	セラグラスシーラー	セラグラスフィラー-EPO
コンクリート、モルタル、ALC、スレート版、窯業系サイディング（注①）	◎	○	○
難付着サイディング建材（無機系、光触媒系、親水系等）	◎	×	×
複層仕上塗材面、各種トップコート面（弾性塗材は除く）（注②）	◎	○（注③）	○（注③）
PC版、押出成形セメント板、磁器タイル、石材調塗材面	◎	×	×
FRP、硬質塩ビ、ガラス質系建材、アルミ、ホーロー銅板、化粧スレート、ガルバリウム鋼板、カラートタン、コロニアル、瓦	◎（注④）	×	×

注① 難付着サイディング建材は除きます。注② 使用する上塗り材の性能により異なります。

注③ 旧塗膜仕上が強溶剤系塗膜の場合はお問い合わせください。注④ 材種に応じた下地処理が必要です。